



開所日時 月・水・木・金曜日  
児童デイ

## 実践発表に参加して

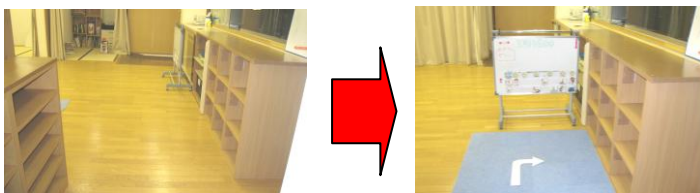
3月29日(日)、武豊中央公民館にて障害福祉サービス等の現場での実践発表が開催されました。発表したのは東海市民病院小児科心理発達外来(通称PRISM)の特別研修生と、NPO法人ゆめじろうの指導員で、障害特性に配慮した先進的な活動の報告がされました。

この実践発表には、当会の児童デイの職員も参加しており、まごころの児童デイでどのような構造化(自分で出来ることを増やす工夫)をしたかを導入前と導入後と比較しながら具体的に発表をしました。また、NPO法人ゆめじろうさんの実践発表では特に外出支援でスケジュールの使用例が紹介され、私たちはその必要性について痛感しました。

最後に早川星朗先生が分かりやすく、それぞれの発表の解説をして頂き、一緒に参加したスタッフにとって、大変参考になりました。

このような研修・勉強に21年度も引き続き積極的に参加しながら、より良いデイサービスにしていきたいと考えています。

児童デイでの実践例



入口の視覚的構造化



PRISM二期生発表風景

## 心づれづれ

### ターミナルケア

人生の終末・・・みなさんはどこで迎えますか。住み慣れた畳の上でのお迎えは最高の幸せかも・・・

私は数年前、ある市で訪問看護ステーションを担当していました。在宅での看取りをお手伝いしましたが、最後に医師の診断があり、家族・親族が別れを惜しみ、充実感で最後を迎える姿にどれほど、感動したことでしょう。

「おじいちゃん、もう楽になるからね」という孫に、まわりの者は、まだぬくもりのある体をそっとやさしくなでています。時が止まったかに見えます。告別式で、作業着でお見送りしていると、家族から花入れたって・・・との声。

国は在宅での見取りを奨励していますが、家族はほんとに大変です。でもそれを支える家族・医療スタッフ等がいれば、私たちの体験からも大丈夫。頑張らなくても大丈夫。

介護保険の導入で、ずいぶんたくさんの機関が入り、調整しています。「うちにいると病人を介護しているというよりも、毎日が空気のように過ぎ去っていくのよ」という妻も、私たちが訪問すると、「リフレッシュしてくるは」と、近所の喫茶店へ行かれます。

言葉では簡単ですが、ターミナルケアはどう死を迎えるということよりも、どう生きるかということでしょう。

賛助会員 藤村慶子

賛助会員の皆様  
協力会員の皆様  
新年度になりました。  
引き続き会員登録を  
お願いいたします。

## ミニデイだよ!

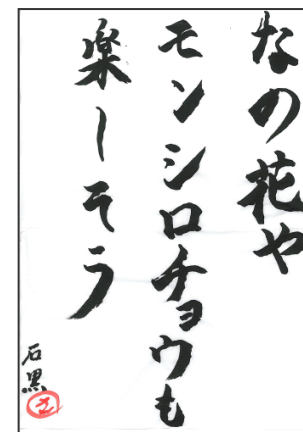
### 共に助け合う

春の日差しも強くなり、木々の芽生えの季節です。

ミニデイでのお習字のひと時、何を書こうか困った様子で、他の人の習字を眺めてみえたSさんに、隣のOさんが「こんなんでもよかったらどうぞ」とメモ書きの中の一句を手渡されました。途端に笑顔が戻ったSさんは、早速、墨で半紙にのびやかに書かれました。とてもよい作品ができあがりました。

ミニデイの利用者さん同士、共に助け合って見えます。ほんの少しの心配りが、皆さんの心や感性を豊かにしてくれます。傍で見ているスタッフも嬉しくなりました。

4月7日に『なばなの里』へお花見に出かけることが決まり、その話題でミニデイは賑やかです。天候が晴れることを願って、待ち遠しい日々を過ごしています。



利用者さんの作品

## 第7回福祉たすけあいフォーラムより『認知症高齢者を支える地域の見守り力』

3月7日(土)、NPO法人あい福祉ネット主催のフォーラムに参加しました。

認知症になっても住み慣れた地域で暮らすことを支える「地域の介護力の向上」は必須の課題です。「認知症の介護のあり方」「認知症ケアのための地域ネットワークづくり」「介護保険制度の方向性」について理解を深め、今後の取り組みに活かすべく学び合う機会を持ちました。

### ◆認知症の介護のあり方

医療法人さわらび会 福祉村病院 伊莉弘之 氏  
認知症というのは、ひとつの状態であり「記憶が悪い、考えて判断して行動するが失敗する」などが症状としてみられるが、身体が悪くても似たような状態になるので、注意が必要で、情緒感情面は正常であることがポイントだと言われました。

アルツハイマー型認知症の治療として、有効なのは、進行を抑えて少しでも良い状態を保つことと問題となる行動を減らして、介護を楽にすることだそうです。そのためには「非薬物療法を実施して効果がない場合には、薬物療法を考慮する」と話されました。

また、行動障害が軽減するケアの仕方を教えていただきました。例えば、同じ事を何度もくりかえし尋ねる方には、やさしく穏やかに対応する。大事なものが盗られたという方には、一緒に探したり、他に好奇心を向けさせて忘れさせるなど、クイズ形式でわかりやすく話され、まごころの勉強会でもやってみようと思いました。

### ◆福祉NPOと地域の協働による見守り力の向上

課題分科会では、NPO法人愛知福祉ネットの取り組んだ課題で次のようなポイントが見えてきました。

- 1・認知症高齢者を最後まで在宅で支える家族の意思と覚悟が前提にあること。
- 2・向こう三軒両隣の協力があるかどうか重要な要素である。
- 3・医療・福祉・介護の公的な制度は必要であるが、果たす役割は三番目の位置にある。

とくに、「地域の見守り力の向上」を課題とし、3つのモデル地区の事業担当者さんからの発表があり、地域との関わりが大切だとあらためて、教えていただきました。